

この「広報ひこね」は42,050部作成し、1部当たりの単価は10円（1円未満切り捨て）です。ただし、原稿作成・編集などにかかる職員の人件費は含まれていません。

芸術の秋を鮮やかに彩る 市美術展覧会

第56回（平成19年度）彦根市美術展覧会が10月2日から7日までひこね市文化プラザで開かれました。

総出品数521点、このうち惜しくも選外となった129点を除く392点が展示されました。会場には多くの美術愛好者が訪れ、清秋のひとときを芸術鑑賞に浸っていました。

一般出品451点の中から、市展覧6点、特選26点、佳作14点、入選276点が選ばれました。また、過去3年間連続特選受賞などにより、無鑑査となった人の作品から、5点が奨励賞に



▲滋賀県芸術文化祭奨励賞を受賞した洋画部門の「シーサー」

決まりました。さらに、滋賀県芸術文化祭奨励賞には、洋画部門で市展覧を受賞した作品が選ばれました。

市展覧、特選および無鑑査奨励賞は、次のとおりです（敬称略）。受賞作品は、学習情報提供システム「ひこねっと」<http://onglife.city.hikone.shiga.jp/>に掲載します。

問い合わせ先 両教育委員会生涯学習課 ☎247971番、FAX 231900番

《日本画部門》

市展覧
▽微笑み 堀居千恵子（米原市）

特選

▽ひととき 川添照子（開出今町）
▽熟れる 平松越（中敷二丁目）
▽ばんびきん 曾我光博（肥田町）

無鑑査奨励賞

▽暖冬 谷村純子（後三条町）

《洋画部門》

市展覧・滋賀県芸術文化祭奨励賞

▽シーサー 久田知恵子（西今町）

特選

▽三百年目の秋色（芹川）
川村嘉則（松原町）

▽彦根城・夏の中濠 今井博子（開出今町）
▽樺からのメッセージ（II） 門野三喜重（高宮町）

▽夏の終わり 川瀬加代子（南川瀬町）

▽木いちご摘み 木村文華（大敷町）

▽浅れ日の参道を石馬寺へ 早崎進（薩摩町）

▽初秋の北野寺 塩谷雅子（高宮町）

無鑑査奨励賞

▽影 押谷たか子（米原市）

彫刻部門

▽傘寿 森武司（佐和山町）

市展覧

▽風 藤野幹夫（戸賀町）

美術工芸部門

踏み出せ 大冨田盛（長曾根南町）

特選

湖烟 小杉明生（愛荘町）

パッチワークの屏風 和田育代（大敷町）

悠悠 いとうけいろ（地蔵町）

無鑑査奨励賞

三彩 大町憲治（大津市）

書部門

市展覧

柳憚詩 安田祥代（東沼波町）

特選

鄭葉詩 西脇大雄（松原町）

高館 近藤貴裕（開出今町）

秋江寫望 筒井和彦（平田町）

和歌五種 橋本洋子（平田町）

無鑑査奨励賞

石川啄木のうた 安居孝昌（日夏町）

写真部門

市展覧

冬の湖畔 小椋俊道（愛荘町）

特選

たそがれ飛行 武田吉正（立花町）

棚田の夜明け 北坂節子（戸賀町）

シルエット 脇規子（東近江市）

樹氷 佐竹鉄二郎（米町二丁目）

熱砂 西山保（豊郷町）

落ち葉揺き 大前岳雄（東近江市）

風紋 葛山善基（松原町）

田植を終えて 山川勝治（地蔵町）

無鑑査奨励賞

風の足跡 山口善一（小泉町）

芸術の秋

～公民館・会館の文化祭に行ってみよう～

| 館名 | 開催日 | 館名 | 開催日 |
|----------------------|------------------|-----------------------|------------------|
| 鳥居本地区公民館 ☎26-1922 | 11月 3日(土)・4日(日) | 南地区公民館 ☎25-5177 | 11月10日(土)・11日(日) |
| 東地区公民館 ☎24-4951 | 11月 3日(土)・4日(日) | 河瀬地区公民館 ☎28-1000 | 11月 3日(土)・4日(日) |
| 西地区公民館 ☎24-2957 | 10月27日(土)・28日(日) | 稲枝地区公民館 ☎43-4041 | 11月 3日(土)・4日(日) |
| 旭森地区公民館 ☎26-0675 | 11月10日(土)・11日(日) | 東山会館 ☎23-3582 | 10月27日(土)・28日(日) |
| 中地区公民館 ☎24-0801 | 10月20日(土)・21日(日) | WA っとねす春日 ☎25-0164 | 10月27日(土)・28日(日) |

各地区公民館、東山会館、人権・福祉交流会館（WA っとねす春日）で文化祭を開催します。

会場では、絵画や生け花など、施設を利用している人たちの作品の展示などを行っています。

詳しい内容については、各公民館・会館にお問い合わせください。

今月の納税 市県民税（第3期） 10月31日(水)までに納めましょう



「広報ひこね」は、環境に配慮し古紙配合率70%の再生紙を使用しています。また、揮発性有機化合物の発生を抑えた大豆油インキを使用し、印刷は有害な廃液を排出しない水なし印刷を採用しています。